

2023年7月16日(日)メッセージアウトライン 「あなたの信仰の土台は何ですか」

聖書箇所：Ⅱテモテ3：15b～17、4：1～2、4：7～8

タイトル：「あなたは何を信仰の土台としていますか」と問われたら、どのように答えられるでしょうか。

パウロは我が子のように愛してきた霊の子どもともいえるテモテに、自らの過去の姿を赤裸々に語っている。パウロはかつて、神に逆らう者、イエス・キリストを信じる者を迫害する者であった。本人の言葉によると「罪人のかしら」とでも言うべき存在であったのに、今は、伝道のトップランナーとして、死をも厭わず走り続けている原動力は何であるかをテモテに伝えようとしている。それは神の言葉である「聖書」である。

あらためて「聖書」とは何であるか、聖書は何を私たちに与えてくれるのか、何を求めているのか、パウロがキリストの弟子として走り抜いた先に抱いていた希望について、本日の聖書箇所から学んでみよう。

## 1. 初めに——聖書とは何ですか？ Ⅱテモテ3：16

①聖書はすべて神の靈感によるもの===「神の言葉」である。神からの啓示

②聖書は「イエス・キリスト」を指し示す

「あなたがたは聖書の中に永遠のいのちがあると思って聖書を調べています。その聖書はわたしについて証ししているものです。」ヨハネ5：39

③聖書は「救いの歴史」を記している

天地創造→神への反逆(罪人となった人間)→神の救いのご計画→救い主の誕生→イエス・キリストの十字架の死、埋葬、復活→イエス・キリストを信じる者に与えられる救い→キリストの再臨→救いの完成

## 2. 聖書が与えるもの Ⅱテモテ3：15b——信仰と生活の基準

「聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。」

①救いを受けさせる知恵を与える

\*聖書を真に理解するには、イエス・キリストを信じる信仰が必要

\*イエス・キリストを信じるとは、キリストの言葉を信じること

例：マタイ8：5～10に登場する百人隊長のみ言葉に対する信仰を見てみよう

②イエス・キリストに対する信仰によって救われた者にとっての聖書とは？

\*聖霊の助けをいただいて読むもの

\*聖書はクリスチャンにとって、霊の糧

・何を教えてくださっているか

- ・何を戒めておられるのか
- ・何を矯正しようとしておられるのか
- ・「義の訓練」とはどんな訓練？

③「神の人がすべての働きに、ふさわしく、十分に整えられた者となる」という意味は？

- \*神の人とは？
- \*すべての良い働きにふさわしくとは？
- \*十分に整えられた者となるとは？
- \*キリストの弟子となった者への命令は？（Ⅱテモテ4：1～2）

3・パウロが抱いていた希望（Ⅱテモテ4：7～8）

- \*キリストの再臨の日（かの日）に義の冠をいただくこと——これはすべてのキリスト者の希望でもある

#### 4. 結論

①聖書は私たちの罪人であった過去の姿を照らし出し、聖書が指し示すイエス・キリストを信じる信仰によって、今を生きる私たちがどのように生きたら良いのかを教え、導き、信仰の馳せ場を駆けぬけて主イエスに従い通した者が何を受け取ることが出来るのかを明確に示している救いの歴史書である。

②聖書を読まずして、人生の意味は理解できず、救いもない。それはまことの神との出会いのない人生、生まれて、死んだというだけの空しい人生である。

どんなにこの世にあつて成功しても永遠の滅びに至る人生に、一体何の意味があるだろうか。

聖書を通して、自分という人間に神が与えてくださったいのちの意味を知ろう。聖書の示す救い主イエスによって救われ、聖書の示す規範を自らの生き方として神の人として整えられて、大いに主に用いていただくのではないか。神の人とされた者、すなわちキリストの弟子とされた者は人々にキリストの福音を伝え、さらに彼らをキリストの弟子として導く使命が当てられていることを忘れずに、進んで行こう！